

特長1 本誌と別冊の2冊構成で、定期テスト対策が万全

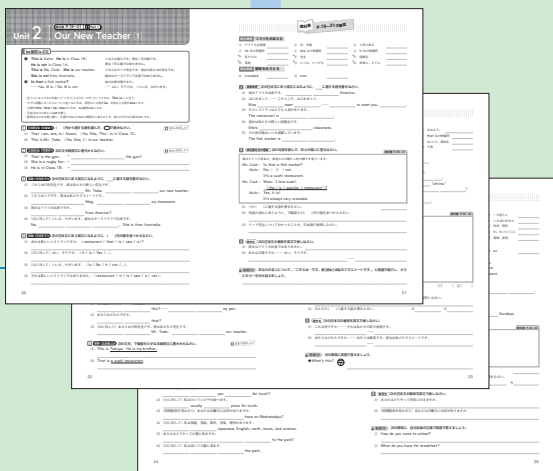
定期テストの勉強は、限られた期間にすべての教科を効果的に進める必要があります。そこで大切なものは、いつ何をするかのスケジュールングと勉強を効率的に進めていくための素材です。私たちは定期テストの勉強に何が必要なのかを改めて考え直し、本誌と別冊の使用場面を明確にして本当に必要なものを収録しました。

定期テストの勉強の仕方

1 テスト範囲の内容確認

まとめとまとめに対応した問題で、教科書内容をしっかり確認します。

本誌



別冊

定期テスト
得点UPトレーニング

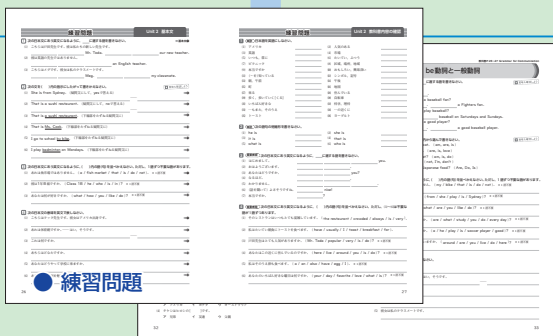


2 基礎事項の反復練習

単語や漢字・語句、理社の重要用語、数学の用語や公式など、基礎知識としてしっかり身につけておきたい内容は別冊で反復練習します。正答数を記録できるので、小テストとしても使えます。

3 問題演習で定着強化

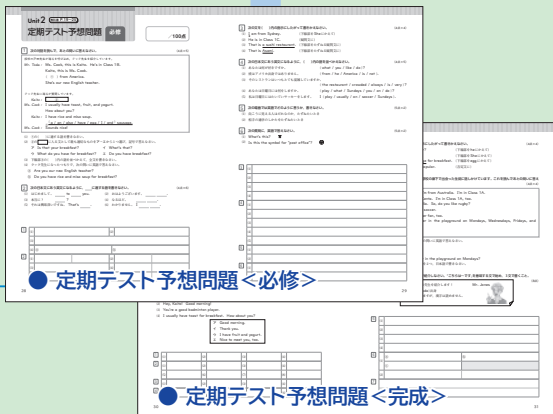
問題演習を行い、教科書内容をしっかり定着させます。



●練習問題

4 予想問題で仕上げる

「必修」と「完成」の、2レベルの定期テスト予想問題に取り組み、仕上げを行います。



●定期テスト予想問題<必修>

5 最後の見直し

本誌は間違えた箇所の解き直し、別冊は全問正解できるまで繰り返すなど、テスト直前まで使いこみます。

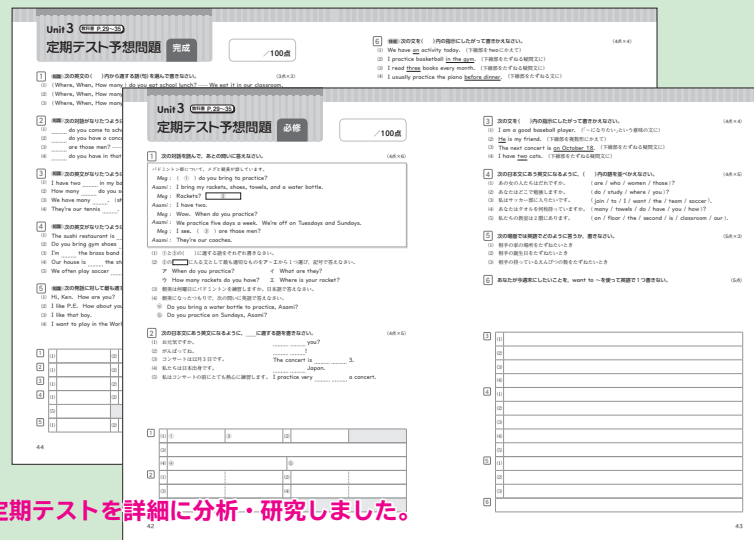
●定期テスト予想問題<完成>



特長2 定期テスト予想問題を増強

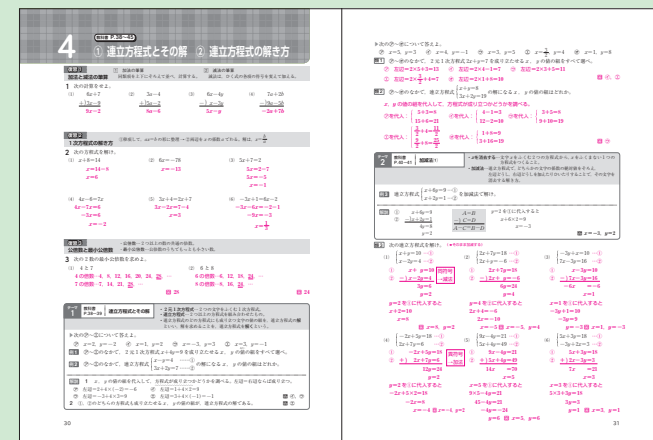
「実際のテストで同じ問題が出た!」「類書の中でも的中率が高もっとも高い」などなど、大好評の定期テスト予想問題。生徒の力量や定期テストの傾向にあわせて使えるように、「必修」と「完成」の2つのレベルを収録しています。新しい新ワークでは、従来の良さはそのままに、ページ数をさらに増やしました。全教科見開き構成とし、英国理社は実際の定期テストと同じように解答欄をまとめて掲載しています。テストの形式に慣れておくことで、本番でも落ち着いて臨むことができます。前回の改訂から5年間、定期テストの研究を継続して行っています。今回も満足いただける自信があります。

●1000本を超える定期テストを詳細に分析・研究しました。



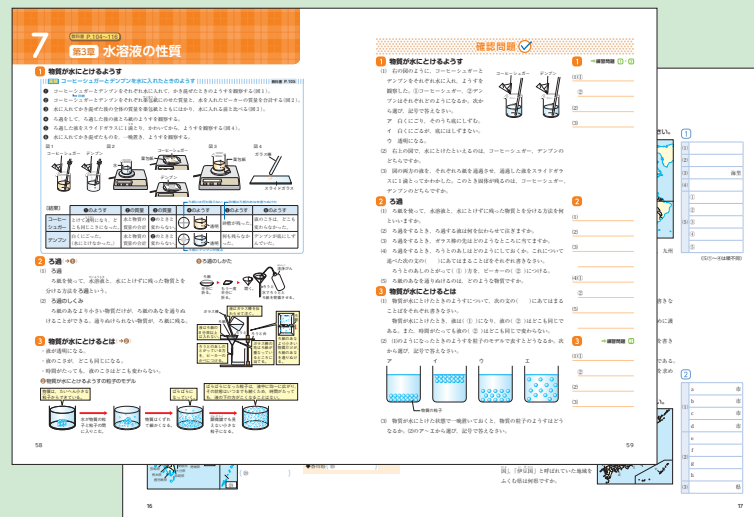
特長3 2色縮刷解答で答え合わせの負担を軽減

最も大切なことは、問題を解いたら答え合わせをして、間違えたところを見直すこと。でもこの答え合わせと見直しがなかなか面倒で、きちんとできていない生徒が多いのです。せっかく前にやったことがある問題がテストに出たのに、見直しをしてなかったために同じ間違いをした…。そんなもったいない事が起きないように、2色刷りの縮刷解答にして、答え合わせと見直しを負担なくスムーズに行えるようにしました。数学では縮刷解答に途中式が細かく書かれているので、自分が間違えた箇所がすぐに確認できます。国語は採点基準も入っているので、満点の解答を書くために必要な要素がわかります。



特長4 理科・社会は全点オールカラー

資料や写真が豊富に入る理科・社会を全点オールカラーにしました。地図やグラフ、表などが格段に見やすくなり、解説も行間解説までスッキリと読みやすくなりました。取り組みやすい、わかりやすい誌面でモチベーションが上がり、学習意欲も高まります。



特長5 授業映像、WEBブック、TestMakerなど 新スタイルの学習にも対応

新発売 映像新ワーク

(英国は全準拠、数理社は標準版で発売)

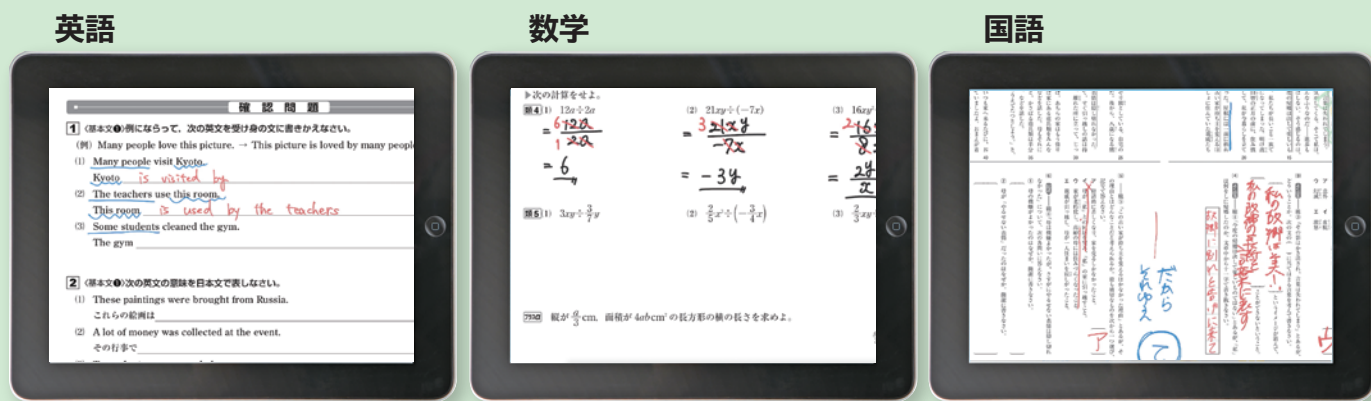
英語 数学 国語 理科 社会



サンプル

オンライン学習に注目が集まり、学習塾でも家庭でも学校でも「映像で学習する」というハードルがぐっと下がりました。今では映像学習が不可欠な存在になっています。新ワークでは、学習塾の授業を再現した「映像新ワーク」

をご用意しました。新ワークの1見開きに対して、40分程度の映像授業になっています。学習塾で複数の教科が選択できない生徒、他の教科も少しやりたい生徒などのフォローにも最適です。



新発売 WEB新ワーク

(旧デジタル指導書)

(新ワーク本誌と同じ準拠を発売)

英語 数学 国語 理科 社会



サンプル

従来から発売していたデジタル指導書を、スマートフォンやタブレットなどで簡単に利用できるようにしたストリーミング型の「WEB 新ワーク」を発売します。パソコンや電子黒板でももちろん利用できます。この「WEB 新ワーク」は、生徒にも是非使ってもらい

たいと思っています。画面をタップすると解答が表示されるので、ちょっとした空き時間にスマホ学習ができます。学びたいと思った瞬間を支えることができる、そんな新しい存在です。

先生
には

● デジタル指導書として

授業中にプロジェクターにつないで投影したり電子黒板に映したりして使用します。

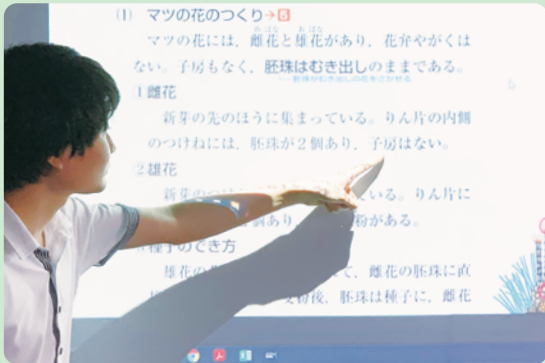
生徒
には

● 重要問題の確認に

スマホやタブレットに一问一答や穴埋め問題のページを表示させると、重要用語の確認が簡単にできます。理社のまとめページも画面上で確認できるので、移動時間を有効に使った学習に最適です。

● 紙の教師用指導書の代用として

タブレットやスマホで答えを確認しながら授業を進めることができます。

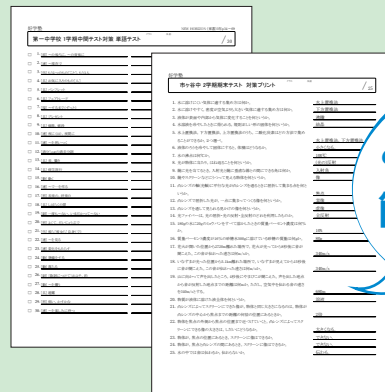


改訂版 TestMaker

(新ワーク本誌と同じ準拠に対応)

教科書ページを選択することで、その範囲の単語テストや重要用語のテスト、暗記プリントなどが簡単に作成できるソフトです。簡単にテストを作成できるので、先生の負担軽減になると好評です。

先生用



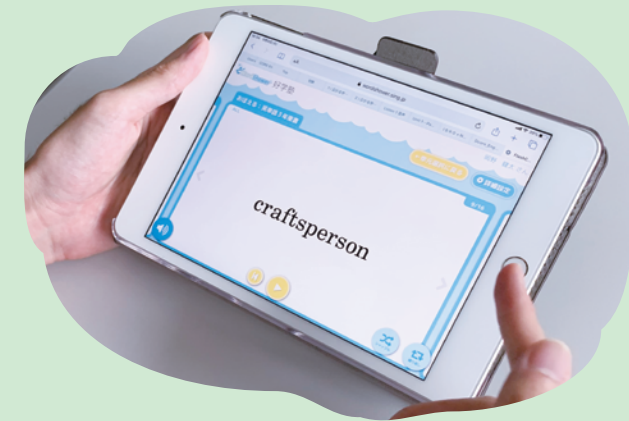
こんなテストが簡単に作れます!

改訂版 WordShower

英語

(英語全準拠発売)

webカード形式の英単語のつづり、意味、発音をおぼえるために使用します。テストモードも設定できます。スマホやタブレットを使った家庭学習で使用しますが、教室設置のプロジェクターで投影して、皆で一斉に発話しながら暗記学習に使用することもできます。



新発売 発話アプリELST®

英語

(英語全準拠発売)

AIがスピーキングを自動採点する、英語4技能対策アプリです。アプリ上で新ワークと同じ問題を発話して解答すると、AI が採点し、良くできた点や改善点を詳細に評価し、学習アドバイスをします。新ワークの問題を、筆記だけでなく発話でも解くことで、さらに力をのばすことができます。さらに、教科書の本文・単語の音声収録された教科書モードをご利用いただくことができます。教科書と同じ音声を聞いて発話練習、対話文のロールプレイングなど、新しい形のテスト対策が可能です。

教科書と
同じ音声を聞いて
発話練習が
できます!

ELST®

新ワークに寄せられた先生方の声

● 新ワークはこうやって勉強する、使用するなどの提案が欲しい。今回採用した教材はこういうものだと言いたいから。(神奈川県 F 先生)

● コンセプトがきちんとしていることが重要だと考えている。コンセプトが誌面や構成物にどう具現化しているかを見たい。(新潟県 M 先生)

● 実際の学校のテストは、問題量と時間の勝負でもある。別冊は暗記事項のまとめ冊子とするなど、エッジをきかせる切り口もいいと思う。(千葉県 K 先生)

● いままでの新ワークも講師の間で大変評判が良かった。まるっきり同じ問題がテストで出たとの報告も受けている。今後に向けて「出やすい問題にマークをつける」など、自学形式で生徒がどこを押さえたらいいかが分かるような誌面構成になってくれると、なお理想的。強い改善点を言えば、定期テスト予想問題を必修・完成それぞれを2ページずつに増やして欲しい。(福岡県 K 先生)

● 定期テスト予想問題が必修と完成の2種類あるところが、大変使いやすい。配点付きのしっかりしたテスト形式になっているので、生徒たちに「力試しにやってみなさい」と指示しやすい。本番のような気持ちで取り組ませることができる。(神奈川県 A 先生)